

平成25年度 学校経営計画書及び学校評価計画書

石川県立飯田高等学校

学校長 井下 守

1 教育目標

真理を探究し、高い知性と豊かな心を養い、積極・進取の精神をもった明朗快活で実践力のある誠実な人間を育成する。

2 中長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 昨年度、創立百周年を迎えた本校は文武両道を校是として継続し、教育目標に掲げる人材の育成を目指し101年目の歩を進めている。
- ② 過疎化・少子化の進展により、生徒が一層多様化している。生徒の多様な生活意識や能力に応じた学習指導と進路指導が求められている。
- ③ 普通科と総合学科併置の特性を踏まえ、生徒の多様な進路希望に応える指導・支援体制の構築が求められている。
- ④ 生徒の一段高い規範意識の醸成を目指し、ボランティア活動や地域行事への積極参加を通じて、地域に密着した学校作りを推進している。
- ⑤ 文部科学省の指定事業を通じて、地元の中学校と連携を取り、中高接続を意識した英語の学習指導の在り方について研究を進めている。

(2) 生徒に関する中長期的目標

- ① 学びに対する意欲と身構えを自ら整え、キャリア・アップを図り、自分の将来に対して志の持てる基盤を築く。
- ② 基礎・基本となる知識や技能の習得を基礎として、自らの未来を拓く素地となる思考力・判断力・表現力を身に付ける。
- ③ 礼儀正しく、互いの個性や能力を尊重し合い、故郷に誇りと愛着を持ち、国際的視野に立って社会に貢献できる人材を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 教職員の経営参画意識を高め、課、学年、教科間の連携を図り、組織体としての教育力の向上を図る。
- ② 教員が学校経営の視点を持って業務を進め、主任層が積極的に指導・助言や提案を行う。
- ③ 学習指導、部活動や学校行事等において生徒と強く係わりとともに、生徒の支援者として自らの総合的指導力を高める。
- ④ 学校公開や外部に対し適切な情報提供を積極的に行い、地域の特性を活用した取組を進める。

3 今年度の重点目標

(1) 生徒の多様な進路希望に応える学力養成

- ① 学習指導はじめ様々な取組に対する教員の結果分析力・課題把握力・改善策立案力を高める。
- ② 「学校間連携による教育力向上事業」の取組継続により教員の教科指導力を強化し、生徒の進路意識の高揚と学力向上を図る。
- ③ 大学入試問題解法研究と成果発表を継続し、実践的教科指導力の強化を図る。
- ④ 先進校視察により学習指導と進路指導に関する方法や体制の更新を図る。
- ⑤ 「英語力を強化する指導改善の取組事業」の継続により、英語によるコミュニケーション力を高める。
- ⑥ 学習時間調査を継続し、家庭学習や生活実態の的確な把握と情報共有により個に応じた学習支援を徹底する。

(2) 生徒の生活意識・習慣を踏まえた規範意識の育成

- ① 的確で迅速な生徒の動向把握と対応により安全・安心な学校生活づくりを支援する。
- ② 「登校坂の挨拶」に加え、日常の挨拶やコミュニケーションを通して、言葉による自己表現力を高める。
- ③ 部活動全員加入を奨励し、「遅刻ゼロの日120日」の取組を継続する。

(3) 普通科、総合学科の特長を生かした教育活動の推進と生徒の更なるキャリア・アップ

- ① 座学や実習の授業による基本的な知識・技能の習得を基礎として、生徒の論理的、創造的思考力、判断力、表現力の育成に取り組む。
- ② キャリア教育講演会、国際理解教育講演会やペアレントティーチャーによる講座を通して自立した社会人に必要な素養を身に付ける。

(4) 地域に密着した、地域から信頼される学校づくりの推進

- ① 教育活動や学校行事に関する情報発信を積極的に進め、本校に対する地域理解をより深める。
- ② 除雪ボランティアの継続、地域の公民館はじめ市の関係機関と連携し、地域のニーズに応えるボランティア活動を進める。